

宝塚歌劇に関する話題をピックアップ!

SUMIRE TOPICS

雪組公演

かんぽ生命 ドリームシアター

『幕末太陽傳』『Dramatic“S”!』 制作発表会

4月21日開幕の『幕末太陽傳』『Dramatic“S”!』。

数々の名演を残した雪組トップコンビ・早霧せいなと咲妃みゆが、この2作品を最後に、惜しまれつつ宝塚を去ります。

今回は、1月16日に東京都内で行われた制作発表会の模様をお届けします。



(中央)雪組トップスター・早霧せいな、(右)雪組トップ娘役・咲妃みゆ、(左)雪組・望海風斗

「雪組の皆と、心を一つにして臨みたい」——早霧せいな

『幕末太陽傳』のパフォーマンスで開幕した制作発表会。まずは早霧せいなさんが、激動の時代をしたたかに生きる主人公・佐平次^{さへいじ}の心意気を軽快に歌います。続いて望海風斗さん、咲妃みゆさんも加わり、未来に希望を託す美しいコーラスを聞かせました。その後は『幕末太陽傳』脚本・演出の小柳奈穂子さん、『Dramatic“S”!』作・演出の中村一徳さんらと交えた会見へ。公演への意気込みなどが語られました。



公演への意気込みをお聞かせください。

早霧▶私と咲妃の退団公演がいよいよ始まろうとしていますが、さらに気を引き締め、今まで以上に心を込めて舞台を務めたいと思っています。『幕末太陽傳』は、自分に佐平次役が務まるのかという不安もありますが、とても面白い作品。この作品を演じるために、今まで日本物の経験を積んできたのかもしれないと…。宝塚らしさ、雪組らしさを加えて作り上げれば、お客様に喜んでいただける舞台になるのではと感じています。佐平次については、いかに“皆に愛される人物”として演じるかが大切だと思いますので、先生方とご相談しながら“魅せる”芝居が出来れば良いですね。一方、ショーは芸名の自分を投影出来るもの。場面ごとに七変化しながら、雪組の皆と心を一つにして、お客様に楽しんでいただける舞台をお届けしたいと思います。



咲妃▶退団公演とはなりますが、早霧さんと同じく、いつも通り全力で舞台を務めたいです。お芝居では女郎役ということで、私にとってはまた新たな挑戦となります。これまでの経験を生かしつつも

真っ白な心で臨み、色っぽい女性を丁寧に演じたいですね。ショーの方は、皆で作りが上げられるところが大きな魅力だといつも感じています。皆のパワーがお客様に届けば幸せだなと…。早霧さんや雪組の皆さんと一緒に舞台を作れることに感謝し、一日一日を大切に、精一杯稽古に励んでまいります。



望海▶お芝居では、映画版で石原裕次郎さんが演じられた高杉晋作役をさせていただきます。この大役にどう立ち向かうべきか、悩むことも多いと思いますが、「面白きこともなき世を面白く」という高杉晋作の言葉を胸に、楽しんで役を作りたいですね。ショーは題名の通り、これから色々なドラマが詰め込まれていくのが本当に楽しみです。早霧さんと咲妃が突き進む方向に、私もしっかり付いていきます!



『Dramatic“S”!』のタイトルロゴの“S”は、自ら書いたものだとも語った早霧さん。朗らかさの中に、退団公演への強い思いが覗く会見でした。雪組が誇るゴールデンコンビの熱いラストラン、ぜひ見届けて。